

第1次案内 第38回大会



中国・四国・九州地区

生涯教育実践研究交流会

主催 福岡県教育委員会 日本生涯教育学会九州支部

主管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会第38回大会実行委員会

福岡県立社会教育総合センター

期日:2019年 5月18日(土)・19日(日) <情報交換会 5月17日(金)>

18日(土) ☆ 実践発表

- * 地域を活性化させる事業とネットワークの拡大
- * 未来へつながる 地域住民が主役のまちづくり
- * 少子・高齢社会が進行する中で 異世代をつないでいく交流活動
- * 家庭教育力向上をめざした新たな学習プログラム 等々 (前回の事例から)

発信は、学校関係者、行政職員、公民館、PTA、NPO、民間企業など、
中国・四国・九州地区各県、様々な立場から28事例

☆ 特別報告: 「グローバル時代の日本文化再考」

～文化が作り出す「国柄」と「副作用」～

報告者 三浦 清一郎 (月刊生涯学習通信『風の便り』編集長)

☆ 大会交流会: 発表者、参加者、実行委員の皆さんと交流を深めませんか?

19日(日) ☆ 特別企画: 「超高齢社会の『未来の必要』」

【第1部】 「高齢社会の放送大学」～その使命と活用の可能性～

登壇者 菊川 律子 氏 (放送大学福岡学習センター所長)

西之原 鉄也 氏 (放送大学大学院修了者 元北九州市若松区長)

聞き手 古市 勝也 (九州共立大学名誉教授) 大島 まな (九州女子大学教授)

【第2部】 『学習療法』で認知症高齢者の脳機能活性化に挑む

登壇者 山崎 律美 氏 (介護老人福祉施設 永寿園 園長: 福岡県大川市)

聞き手 三浦 清一郎 (月刊生涯学習通信『風の便り』編集長)

森本 精造 (福岡県飯塚市青少年教育施設 サンビレッジ茜理事長)

《第37回大会の様子から》

会場: 福岡県立社会教育総合センター



特別報告

実践発表

交流会

特別企画



※リーフレット(発表詳細・申込用紙)は、4月上旬発送予定です。詳細は、「ふくおか社会教育ネットワーク」(<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>)にも掲載予定です。どうぞ、ご覧ください。

問い合わせ先

福岡県立社会教育総合センター

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出 3350-2

電話 092-947-3512 FAX 092-947-8029

